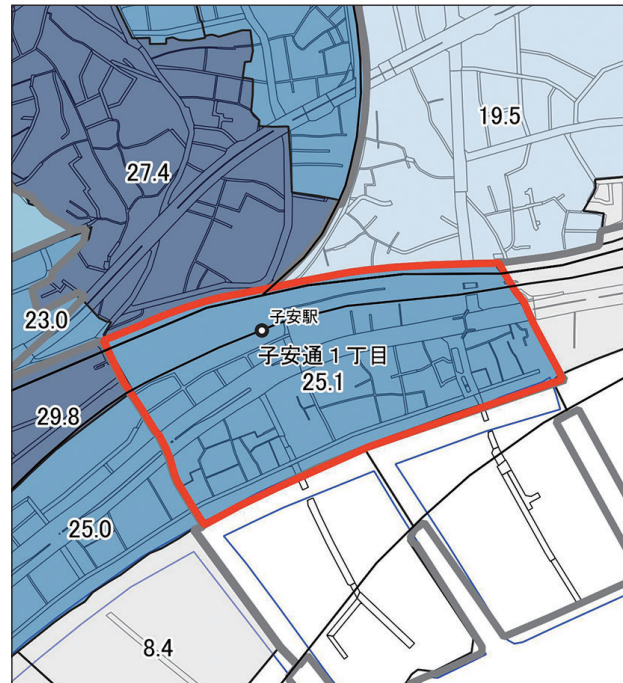
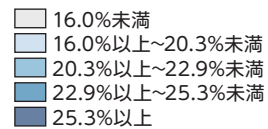


地区状況②

高齢者の分布

※住民基本台帳による、
令和3年3月時点

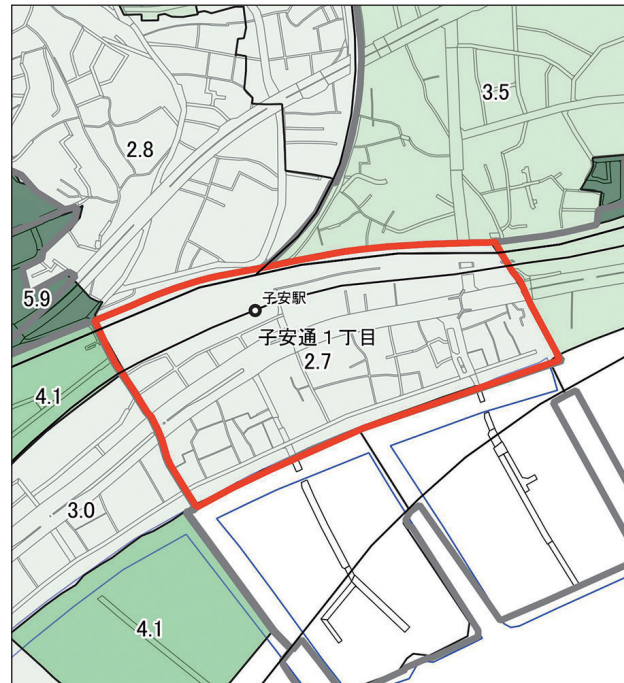
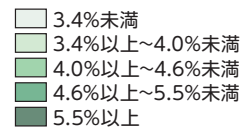
高齢者(65歳以上)比率(%)



未就学児の分布

※住民基本台帳による、
令和3年3月時点

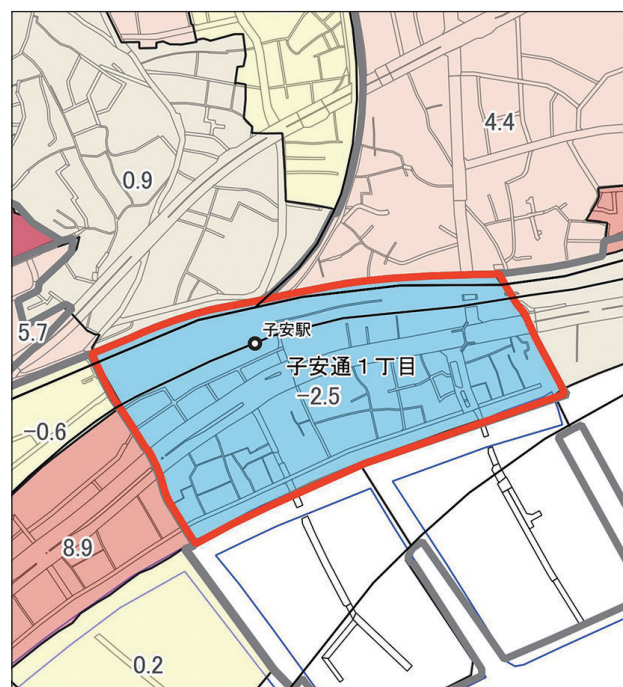
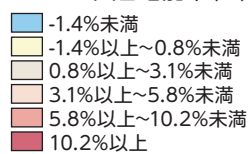
未就学児(0~5歳)比率(%)



人口増加率

住民基本台帳による、
平成28年3月及び
令和3年3月時点

人口増加率(%)



子安通1丁目地区



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)

※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。

(令和3年3月時点)

※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)

※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。

※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。

※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

この計画は、住み慣れたまちで安心して暮らせることを目指し、地区内の様々な人・団体の想いが込められています。

区の計画や他地区の計画は、
区HPをご確認ください▶



かながわ支え愛プラン(第4期神奈川区地域福祉保健計画)

令和3年度~令和7年度

子安通1丁目地区

歴史が世代をつなぐまち 子安通1丁目

● 地域子育て支援拠点

⊕ 病院

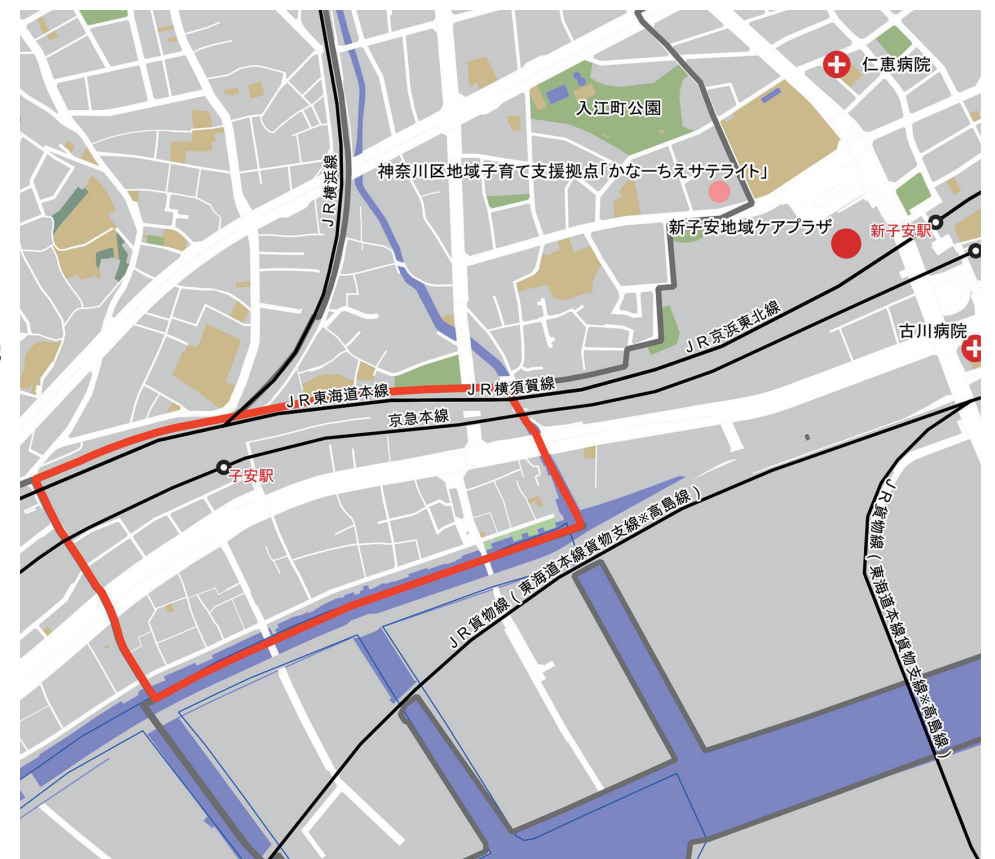
● 地域ケアプラザ

■ 樹林地

■ 農地・農業施設用地

■ 都市公園

■ 文教厚生用地



地区概要

京急線の海側の地区で、地区内に京急線の子安駅があります。

地区の中央を東西に国道15号線が通っており、沿道に共同住宅もみられます。国道の海側は戸建て住宅が密集しています。

人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	子安通1丁目地区	神奈川区
総人口	2,162人	241,561人
0~14歳	138人(6.4%)	27,491人(11.4%)
15~64歳	1,481人(68.5%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	543人(25.1%)	53,136人(22.0%)

	子安通1丁目地区	神奈川区
総世帯数	1,431世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.51人	1.87人
65歳以上ひとり暮らし世帯	231世帯(16.1%)	18,089世帯(14.0%)

問合せ先

横浜市神奈川区役所:TEL 045-411-7135
新子安地域ケアプラザ:TEL 045-423-1701

横浜市神奈川区社会福祉協議会:TEL 045-311-2014

これまでの取組

5町内会すべてが参加する毎年恒例の「グランドゴルフ大会」は、大きな盛り上がりを見せています。

その他、地区連合全体の防災訓練や、新年餅つき大会など、様々なイベントを通じて、住民同士の交流を図っています。

また、平成30年度～令和元年度には、「防災マップ」を作成するためにまち歩きを実施し、完成したマップをもとに、こども会とも意見交換・情報共有を行いました。



▲令和元年度マップをもとに、
まちについて意見交換(子ども会も参加)



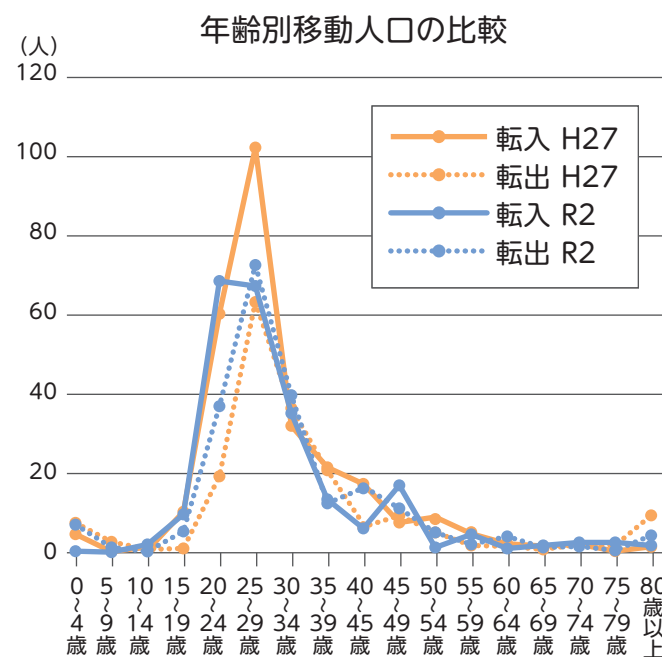
▲子安浜の風景

知ってますか、子安浜…

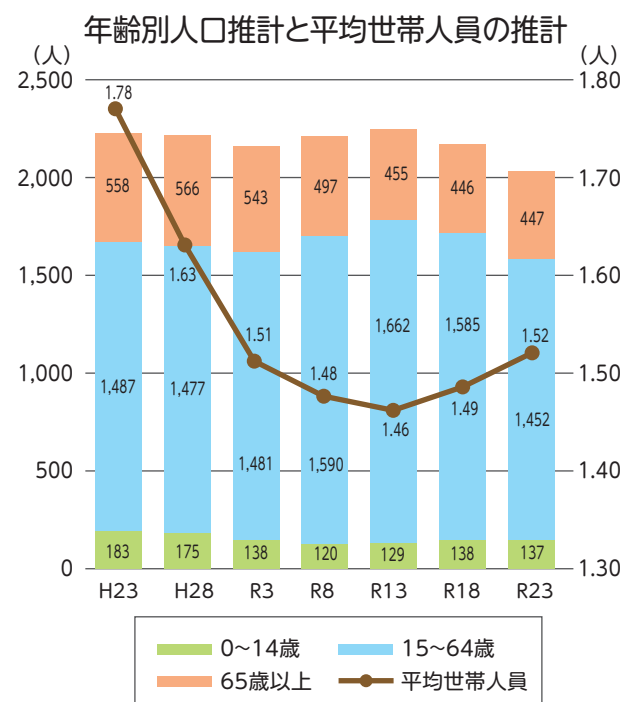
「子安浜」と呼ばれる入江川(第2派川)に面している浜通りの周辺は古くから漁業が行われ、江戸時代には幕府お抱えの漁場として栄えていました。

名産品であった「子安浜のシャコ」や貝などの加工に用いるために設けられた井戸が、いまでもまちの中に点在し、昔ながらの漁師町の風景を色濃く残しています。

地区状況①



※各年の住民基本台帳(3月)



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

歴史が世代をつなぐまち 子安通1丁目

～まちの歴史や想いを大切に継承していきます～



誰もがつながる、
きっかけづくり

グランドゴルフ大会



防災訓練



目標1

住民同士が交流する場を通じて、まちのつながりを広げます!

【具体的に行うこと】

- まちで暮らす次世代に地域のことを知ってもらうきっかけづくり、つながりを広げていきます。
- 行事・イベントなどの参加者の輪を広げ、様々な世代の人たちが交流できる場にします。
- 保育園など、周辺の各種施設と協力・連携することで、多世代・多文化交流のきっかけとします。



目標2

日頃からのお付き合いを通じた「みまもり」により、災害時にお手伝いが必要な方の把握をすすめます!また、災害への備えを強化します!

【具体的に行うこと】

- 民生委員・児童委員、ふれあい活動員、友愛活動員など、まちの「みまもり」に関わる人たちが、それぞれ持っている情報を共有します。
- まちの様々な人の声を集め、「支えあいマップ」や「防災マップ」の活用などに取り組みます。
- まちにある企業や関係団体とが連携し、引き続き実践的な防災訓練を行います。

